



そらとつちとみどりの会話

NOSAI

information magazine of
NOSAI KAGAWA

9 2014
September

vol.009

ここがポイント イノシシ対策 水稲の損害評価始まる



ここがポイント イノシシ対策



効果的な対策法を指導する矢木副主幹

ポイントは2つ
 ① 餌付けをしない
 ② 柵（ワイヤーメッシュ、電気柵など）の維持管理

香川県内での野生獣による農作物被害は、被害面積・金額ともに高いレベルにあります。中でも、イノシシによる被害面積は全体の72%と大きなウエートを占めています。被害を増やさない、また新たに発生させないためには、農家の皆さまにできることの積み重ねが大切です。鳥獣害被害対策を現場で指導する香川県東讃農業改良普及センターの矢木聖敏副主幹に対策を指導してもらいました。

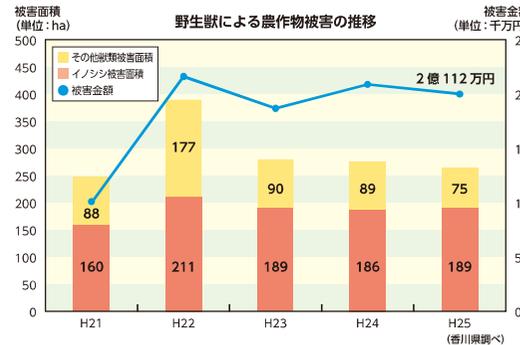
その行為が餌付けに

秋にたっぷり餌を食べて脂肪を蓄え春の出産に備えたい野生獣にとって、早期水稲を刈り取った後の「ひこばえ」や果樹園に捨てられたままの放置果実、家庭の生ゴミなどは絶好の餌です。「どうせ収穫しないから食べさせても大丈夫だろう」と考えることは、立派な「餌付け」行為です。

収穫後は農地を耕うんしてひこばえをすき込む、放置果実や生ゴミはコンポスト化するなど、農地を餌場と認識させないことが大事です。

獣害対策は1年を通じて

イノシシは習性性の強い動物。一度餌場と認識したら繰り返しやってきます。ワイヤーメッシュ柵や電気柵を収穫後も継続して設置する必要があります。
 ① ワイヤーメッシュ柵の扉は必ず閉める。
 ② 電気柵は年中24時間通電が基本です。



依然として高い獣被害
 野生獣による県内の平成25年度被害面積は264畝、被害額は2億112万円と、前年度に比較して減少しています（グラフ参照）。しかし単純には喜べない状況です。昨年とはまたま柿や芝栗、どんぐりなど山の実りが豊かでイノシシなどが餌に困らなかつたから、被害減少になったとも考えられます。油断は禁物です。

正しい知識と対策を

「イノシシは夜行性だから昼間は出てこない」、「田植え直後は大丈夫だろう」といった誤った知識や勝手な思い込みで油断し、大きな被害になることがあります。また、里に出てきた野生獣を追い払わないのも被害の拡大につながっています。

集落で勉強会を開いて正しい知識を取得し、みんなで対策に取り組みしましょう。

効果を高める 設置方法

ネット柵

◎柵を垂らすポイント

ネットは、柵を垂らして足場を悪くさせることがポイントです。イノシシの足にネットがからまつて柵への接近や潜り込み、ジャンプがしにくくなり、効果が高まります。



ネットが足にからまるようにしましょう

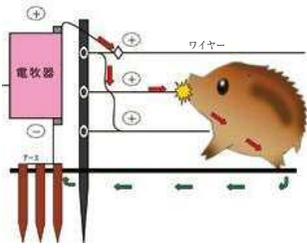
電気柵

◎20cm間隔の3段張りが基本

ワイヤーは、地面から20cm間隔の3段張りが基本です。この張り方をイノシシは嫌がり、柵の手前で立ち止まらせ、侵入を防止できます。



ワイヤーの間隔が広いと侵入します



電流はイノシシの体を通って地中に流れます。ワイヤーに触れた時、足場が電流を通しにくいコンクリートだと効き目は悪くなります。（図提供：東讃普及センター）

電牧器本体のアースは、常に湿り気のある場所を選ぶことが大切です。乾いた場所では強い電気ショックが得られません。また、イノシシの足が着く地面がコンクリートやアスファルトなど電気を通しにくい状態だと効きが悪くなるので、設置場所を工夫しましょう。

ワイヤーメッシュ柵

◎隙間がないように設置

地際や継ぎ目に隙間が出来ないように設置しましょう。水路などの隙間対策も忘れずに行いましょう。集落全体を囲うなど大掛か



ぐらつきのないよう、しっかり固定を

見晴らしよく

柵の内外や集落を常に見晴らしよくしておくことで、効果は一層高まります。臆病で慎重な性質のイノシシに心理的プレッシャーをかけましょう。



水稻の損害評価が始まっています



▲大雨で冠水、倒伏

▲イノシシによる被害

組合では、7月下旬から地区別に損害評価打ち合わせ会を開催し、本年産水稻の損害評価を始めています。損害評価は、それぞれの収穫期に合わせて実施します。

農家の方は、耕地ごとに作物を見て、被害がある場合は、共済部長を通じて被害申告してください。

被害申告をお忘れなく

作付け耕地1筆ごとに、おおむね3割を超える減収があると思われる時は、損害評価野帳(次ページ記入例参照)を各支所の定める期日までに共済部長へ提出してください。

収穫後(耕地より搬出後)の申告はできませんので、ご注意ください。

支払対象となる災害は

風水害、干害、雨雪湿潤害など気象上の原因による災害や鳥害、獣害、病害、虫害、火災です(葉害などは対象外)。なお、本田移植前および収穫後の被害

損害評価の流れ

被害申告

損害評価地区と標準田の設置
損害評価を適正かつ効率的に実施するため、評価地区を設定します。

2 評価眼の統一を図るため評価地区ごとに標準田を設置します。



悉皆調査

被害申告のあった全ての耕地を、評価員4名以上が※検見で調査し、10㍉当たり見込収穫量を決定します。その際、肥培管理の粗放、病害虫防除の不適切な耕地は分割評価します。

※検見とは、収穫期に田んぼの内部とその周辺を見回り、被害の種類や肥培管理の状況、穂数など栽培状況を主に肉眼で調査することです。

抜取調査

悉皆調査終了後、評価地区間の評価に偏りがないかチェックするため、評価委員会が評価地区ごとに10筆を検見、5筆を坪刈り実測調査します。

諮問

組合は、各調査の結果に基づき、損害評価高を評価会に諮問します。

審査・認定

評価会の答申を得た後、組合がとりまとめた損害評価高を農林水産省に提出し、審査、認定を受けます。

共済金の支払い
12月の予定です。

損害評価野帳の記入例

様式野帳(※) 損害評価野帳(※) 標準野帳

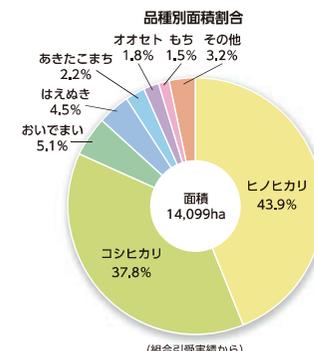
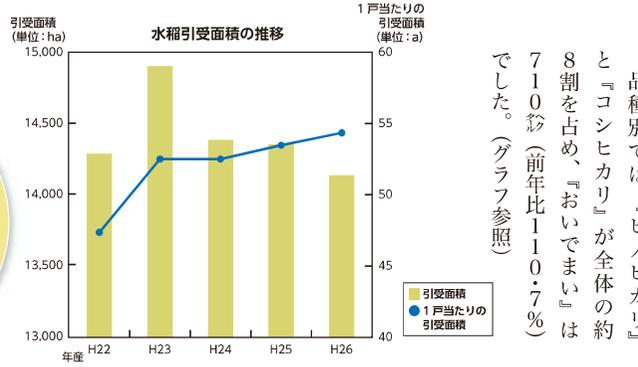
損害評価野帳(一筆方式)		(審査番号)		被害表示の立札	
(組合記入欄)		(農家記入欄)		(農家記入欄)	
組合員名	評価員名	地区名	地区名	地区名	地区名
〇 組合員名	〇 評価員名	〇 地区名	〇 地区名	〇 地区名	〇 地区名
〇 標準田番号	〇 標準田番号	〇 標準田番号	〇 標準田番号	〇 標準田番号	〇 標準田番号
〇 引受面積	〇 引受面積	〇 引受面積	〇 引受面積	〇 引受面積	〇 引受面積
〇 引受率	〇 引受率	〇 引受率	〇 引受率	〇 引受率	〇 引受率
〇 品種名	〇 品種名	〇 品種名	〇 品種名	〇 品種名	〇 品種名

(注) 1. 標準田は必ず組合員が指定し、標準田から取り回って野帳に記入する。2. 「標準田」は、干害、風水害、病害、虫害等と具体的に記入して下さい。3. この野帳を出した耕地は、農家共済組合が保証を要することがありますからご了承ください。

1戸当たり規模は拡大

水稻引受面積

本年産水稻の引受面積は約1万4099㍉で、前年から250㍉ほど減少しました。一方、1戸当たりの規模は54㍉で、徐々に大型化しています。



品種別では、『ヒノヒカリ』と『コシヒカリ』が全体の約8割を占め、『おいでまい』は710㍉(前年比110・7%)でした。(グラフ参照)

損害評価の結果

収穫量見込単収が200kgのとき

kg 当たり共済金額 **198 円**

引受単収 **(350kg-200kg)**

10a 当たり支払共済金 **29,700 円**

基準単収 (10a 当たりの収穫量) が500kgの耕地

7割 (350kg)・・・組合が補償する収量

- 共済金の支払い対象部分
- 3割を超えた部分について kg 当たり 198 円をお支払いします。(飼料用米の kg 当たり共済金額は 20 円)

3割 (150kg)

- 支払い対象になりません

一筆ごとに基準収穫量(今年)の収量の3割を超える減収があった農家に共済金を支払います。

共済金の支払い例
一筆方式・7割補償の場合

立札はよく見える所へ

立札は悉皆調査の前日までに、風で飛んだり雨で字が消えたりしないようビニールで覆うなどして、収穫が終わるまでよく見える所に立てておいて下さい。また、野帳は被害耕地1筆ごとに作成してください。

悉皆調査時、被害表示の立札に調査を行った旨を伝える札を取り付けます。

検見後はこの札を取り付けます

組合の主な動き

7月	2日 共済部長協議会 4日 女性の会研修会 22日 第2回コンプライアンス委員会 24日 損害評価会ぶどう見回り調査 28日 第2回理事会、監事会
8月	5日 損害評価会麦共済部会 水稲損害評価会委員打合せ 青年部協議会 7日 損害評価会水稲見回り調査 12日 監事研修会 20日 第2回余剰金運用管理委員会 25日 第3回理事会
9月(予定)	2~9日 高齢農業者表敬訪問 10日 かき現地研修会 11日 損害評価会茶共済部会 16日 書写コンクール審査会 17日 うんしゅうみかん現地研修会 24日 損害評価会水稲見回り調査
10月(予定)	1日 合記祭、第4回理事会、監事会、 第3回コンプライアンス委員会 15日 損害評価会かき見回り調査 17日 大豆損害評価会委員打合せ 畑作物共済協議会 書写コンクール表彰式 18日 中間監査 20~28日 損害評価会みかん見回り調査 27日



園地を適正に評価する評価会委員

樹種別損害評価時期

樹種	評価時期
くり	9月中旬
かき	9月中旬～10月下旬
うんしゅうみかん	9月下旬～11月下旬
いよかん	11月下旬～12月下旬
指定かんきつ	11月下旬～翌年1月下旬

果樹共済
被害が発生したら申告を

問もなく、秋作果樹の損害評価が始まります。
近年、高温乾燥による生理落果や小玉果、秋の長雨での腐敗果、汚損果の他、イノシシやサバによる被害も発生しています。

被害にあつて減収した組合員の方は、損害評価野帳に①災害の種類②災害の発生年月日③見込収穫量④被害割合⑤被害の状況⑥収穫開始月日を記入し、被害を申告してください。
また、被害園地の入り口には立札をつるし、収穫終了まで撤去しないでください。

無事戻し金
掛金は掛け捨てではありません

無事戻し金は、水稲、麦、大豆、茶、園芸施設共済の過去3年間(平成23年度から25年度)に無事故の方にお支払いがなっています。共済金のお支払いがあつても、3年間の共済金と2年間の無事戻し支払合計額が3年間の農家負担共済掛金の2分の1(園芸施設は3分の1)に満たない方は対象になります。
なお、建物共済の無事戻し金は、平成24年度加入に対するものです。

無事戻し金内訳

支所名	水稲		麦		畑作物(大豆・茶)		園芸施設		建物		合計金額
	戸数	金額	戸数	金額	戸数	金額	戸数	金額	戸数	金額	
東部	895	3,289,078	19	2,373,556	4	87,825	67	538,593	7,331	5,149,001	11,438,053
高松	2,299	6,494,274	111	9,223,734	12	89,989	91	941,799	13,185	8,284,483	25,034,279
小豆	113	225,535	—	—	—	—	19	162,307	1,346	627,133	1,014,975
中讃	1,600	3,625,502	33	8,766,760	1	843	83	681,410	9,892	6,661,384	19,735,899
仲多度	1,213	3,296,731	35	5,362,699	19	91,990	59	650,184	8,543	5,247,123	14,648,727
三豊	2,244	7,358,528	47	2,068,412	4	19,246	180	2,840,720	13,844	9,922,929	22,209,835
合計	8,364	24,289,648	245	27,795,161	40	289,893	499	5,815,013	54,141	35,892,053	94,081,768

NOSAI かがわ
からのお知らせ



農繁期、ゆとりある作業で事故防止

農機具共済
事故、買い替え時は連絡を

稲刈りシーズンの到来です。コンバインの稼働に伴い、衝突、接触、転覆事故が多発しています。始業点検を行い、事故の未然防止に心掛けましょう。
加入されている農機具が事故にあった場合

- ・事故発生日
- ・機種
- ・事故の状況
- ・修理依頼先

を直ちにご連絡ください。
農機具を買い替えた場合も、速やかにご連絡ください。変更手続きがされていない農機具に事故が発生した場合は、共済金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。



台風8号の影響で倒壊したパイプハウス(高知県香美市、NOSAI 高知提供)

園芸施設共済
台風被害に万全の備えを

7月に発生した大型台風8号は、香川県にこそ大きな被害はなかったものの、日本各地で猛威を振るい、農家経営に大きな打撃となりました。
四国内では、室戸岬で最大瞬間風速32・8m/sを観測。吹き荒れた強風で農業用ハウスが倒壊しました。
予期できない災害に備え、NOSAIの園芸施設共済への加入をお勧めします。

各支所の連絡先

東部支所 さぬき市大川町田王子1-2 TEL(0879)43-4121	高松支所 高松市三名町東原5-6 TEL(087)888-1146 0120-58-1148
小豆支所 土庄町大木戸沖甲5165-169 TEL(0879)62-0694	中讃支所 坂出市川津町金山1825-4 TEL(0877)46-1211
仲多度支所 普通寺市与北町山下110 TEL(0877)62-5970	三豊支所 観音寺市本夫町1378-3 TEL(0875)25-2482 0120-031-304

農業共済新聞
無料の試し読みあります

NOSAIの機関紙「農業共済新聞」は2カ月間、無料で試し読みいただけます。
この試し読みにお申し込みただきました方には、干し野菜の作り方や調理方法を載せた「もっとおいしく干し野菜」の冊子をプレゼントいたします。最寄りの支所までご連絡ください。

年間購読料：4,680円



「愛情を込めて栽培しています」と上松さん

「地域の人たちとのつながりが、農業への活力になっていきます」と話すのは、平成20年に千葉県から1ターンの就農した上松明人さん(35)。

「初めは、知らない土地で不安もありましたが、地域の人たちから『どこから来たの?』『無理せんとがんばりよ』と声をかけてもらえたことがうれしかった」と当時を振り返る。今では家庭菜園をしている地域の人から、

地域との繋がりが大切に

丸亀市綾歌町
うえまつ あきひと
上松 明人さん

「生涯現役がモットーです」と笑顔で話す東かがわ市坂元の三谷正一さん(81)。平成19年に農事組合法人「坂元」を立ち上げ、水稲350㌔と麦450㌔の他、個人で水稲66㌔を作付ける。

傘寿を超えてまだまだ現役

東かがわ市坂元
みたに まさかず
三谷 正一さん



稲の生育を確認する三谷さん

「地域の放棄地を解消したい」という強い気持ちで地元農家と話し合い、法人を立ち上げた三谷さん。法人代表として指示するだけでなく、現場に出て自ら積極的に作業を行う。地元でも、地域の行事には必ず顔を出すなど精力的な活動をしている。元営農指導員としての豊富な知識で地域農家の相談役として人望も厚い。

年間の農作業スケジュールや施肥管理は全てパソコンを用いる。「息子や孫に教わりながら、何とか操作を覚ええました。便利な世の中になったと実感しましたね。最近では、ネットゲームな



パック詰めされたトマトは翌朝には店頭へ並ぶ

栽培技術の指導を依頼されるほどの仲になった。

現在6㌔のハウスでミニトマト『サンチェリーピュア』と『ルビーラッシュ』、大玉トマト『ハウス桃太郎』を栽培している。昨年は約4ト収穫し、県内のスーパーマーケットの産直コーナーで販売した。

甘さだけでなく、トマト本来のコクのある味を求める上松さん。「木が苦しまずに自然に近い形で育つよう、水の管理には気をつけています」と話す。「子どもから大人まで、みんな喜んでもらえるおいしいトマトを作りたいです」と目を輝かせる。

どもたまにしています」

「昨年の献穀田を振り返り、「選ばれたことはとても光栄なことだと思おう一方で、自分に務まるかなと不安な気持ちもありました」と当時の気持ちを明かす。献穀田は、皇居宮中で行われる新嘗祭への献納穀物を作る畜田のこと。毎年、各都道府県から地域農業の発展に功績のあった農家の中から選定基準に基づき選出される。

選定基準の一つに、後継者がいることという項目がある。三谷さんは、「幸いなことに、息



左から長男の浩之さん(53)、正一さんとひ孫の結衣子ちゃん(4カ月)、孫娘の夫の佐藤達也さん(26)

子や孫娘の夫も農業に興味を持って来ています。地域農業の後継者を、まずは自分で育てていきたいです。今年4月に生まれたひ孫と、いつか一緒に農業が出来るまで農業を続けていきたいです」と、目標は親子4代での農業だ。



「選ばれたのは光栄なこと。これからも地域農業に貢献していきたい」と献穀田の前で三谷さん夫妻



パソコン操作もお手もの

共励会での入賞を目指す

丸亀市土器町
はしもと みえこ
橋本 美恵子さん

「牛舎に入ると、スイッチが入ったように気持ちがいっぱいになります」とは橋本美恵子さん(82)。畜産に携わって約50年。今も肥育成牛12頭を飼育し、オリープの搾りかすを与えた県ブランド「オリープ牛」に平成24年からチャレンジしている。



「牛の飼育が健康につながっています」と橋本さん

牛飼養では、小さいうちに胃を丈夫にすることを、特に心掛ける。「餌の食い込みが良くなるよう、粗飼料の管理には気を使います」

長男の勝さん(58)は「牛舎にいたるときは母は生き生きとしています。牛を引つ張るなど力仕事は無理ですが、牛にかける愛情と見る目は確かです」と信頼を置く。

毎日、6時半に起床。7時から餌やりなどの作業に取り掛かる。美恵子さんは「同居の孫娘と一緒に、牛の世話をしてくれるのがうれしい。励みになっています」と微笑む。来年も、丸亀地区肉牛枝肉共励会に出品予定で、上位入賞を目指している。



最優秀を受賞したときの賞状を手に

輝く笑顔 さぬきひめ

なかつか あけの
中塚 朱乃さん
21歳・土庄町



子供たちと笑顔で会話

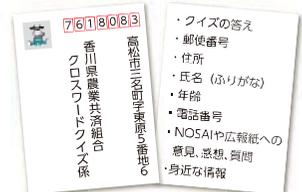
小さい頃からの夢だった保育士になって、2年目になりました。地元保育園に勤務し、園長先生や職場の先輩から優しく指導いただいています。学生時代はソフトボール部に所属していたので、体力には自信があります。子供たちとのスキンシップを大切に、持ち前の明るさと笑顔で接することを心掛けてがんばります。今、一番したい事は、友達と日帰り旅行に行くことです。おいしい物の食べ歩きなんか、いいですね。

クロスワードクイズ

1		2		3	4
		5	6	A	
	7				D
8					
9		C		10	11
		12			E

正解者の中から抽選で7名さまに三木町池戸「三原胎店」の、炊き続けて290年余り、自然麦芽の甘さ「ぎょうせん胎(600g)」をプレゼントいたします。たくさんのご応募お待ちしております。

郵便はがきに、①A~Eを順に並べたクイズの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦NOSAIや広報紙への意見、感想、質問⑧身近な情報などを記入のうえ、ご応募ください。



- 応募の宛先/〒761-8083 高松市三名町字東原5番地6 香川県農業共済組合クロスワードクイズ係
- 応募締め切り/平成26年10月17日(金) 消印有効
- 当選者発表/平成27年1月発行予定の11号で発表いたします。

- たのめカギ
1. 師匠 ⇄ ○○
 2. 北海道や北陸はこれが大変
 3. 昼が長く感じる。○○○ ⇄ 夜長
 4. 「すし太郎」が有名な会社
 6. 乳幼児のお尻に見られる青いあざ
 7. 自分で自分をほめること。○○○賛
 8. 血管の周期的な鼓動。○○○を打つ
 11. 飛鳥時代の政治家。中臣鎌○○

- よのめカギ
1. 二重奏は○○○。三重奏はトリオ
 3. 骨付き鳥は、親か○○
 5. 顔が長い人のこと
 7. 水泳で、泳ぎ方に制約のない種目
 8. 物をみがくのに用いる粉
 9. 面白がって騒ぎ立てる○○馬
 10. 物が幾重にも重なること。十重○○○
 12. 木の切断面にできる同心円状の線

トピックス

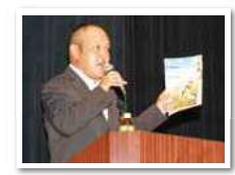


木内博一氏

7月11日、丸亀市綾歌総合文化会館で農事組合法人 和郷園(千葉県) 代表理事の木内博一氏を招き、農業経営研修会を行いました。当日は県内外から約350人の農業関係者が訪れ、熱心に耳を傾けました。

木内代表は就農して家族経営から事業経営へと転換した経緯や、和郷園グループ設立後の生産、加工、販売を行うシステムなどを詳しく説明。参加した若手農業者に向けては、「農業者は、農業経営者にならなければなりません。

中讃地域青年クラブ
農業経営研修会開催



木内代表の話に耳を傾ける参加者



《木内代表プロフィール》
平成3年に野菜の産直を開始、平成10年には農事組合法人 和郷園を設立。生産、加工、販売、海外展開など最先端の農業を行う。経済番組に取り上げられるなど社会的評価も高い。

自分が出来る事を、仮説を立て実行して検証する、というサイクルを繰り返してください。1回成功すれば、それは今後も成功を取めることにつながります。まずは、イノベーション(創造により従来のものを破壊すること)が必要ですよ」と、アドバイスをいただきました。

読者の声

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見、ご感想の一部をご紹介します。

■小豆島の方が表紙でとてもうれしかったです。身近な方が掲載されていると何度も読み返します。(小豆島町 女性 57歳)

■今年、菊からアスパラ農家になりました。不安もありますが、主人と毎日ハウスの中で楽しく農作業しています。(東かがわ市 女性 63歳)

■みそや古代米の記事を楽しみました。自分でも作ってみたいと思いました。(三豊市 男性 63歳)

■今後、オシャレで機能的にもいいファッションの農作業着や、果物や野菜を使ったお菓子作りを紹介してください。(高松市 女性 36歳)

第7号 当選者 発表

答え いちごがり

《当選者》

- 川崎 光さん(東かがわ市)
- 安富千鶴さん(さぬき市)
- 片山静江さん(高松市)
- 小川恵美子さん(高松市)
- 三谷恭平さん(坂出市)
- 大熊 衛さん(綾川町)
- 三井幸子さん(まんのう町)
- 神余典夫さん(琴平町)
- 徳重基子さん(三豊市)
- 福田智明さん(観音寺市)

(有)井上誠耕園製
オリブオイルセットを
お届けしました。

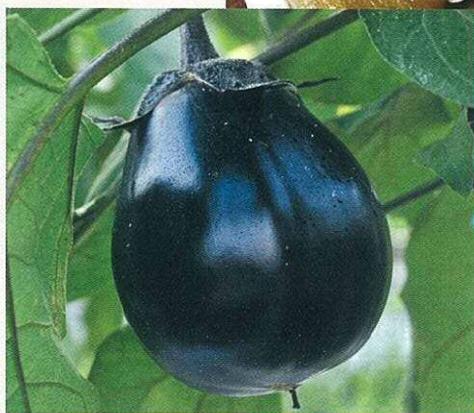


つくってんまい!
たべてんまい!

うちのごはん

vol.
09

ポリニュームたっぷり 三豊ナスそうめん



《三豊ナス》

三豊地域で古くから栽培されている伝統野菜で、丸くて大振りなナス。皮が薄く、みずみずしい肉質が特徴で、どんな調理法にもよく合います。

材料(4人分)

- 三豊ナス 2個(700g)
- ゆでたそうめん 2束分(100g)
- 油あげ 2枚
- 合わせだし
 - いりこだし / 700cc
 - 薄口しょうゆ / 50cc
 - おろししょうが / 少々
- 油 適量
- ごま油 少々

作り方

1



三豊ナスと油あげは8等分します。ナスは皮に隠し包丁をし、水にさらしてからあく抜きます。

2



フライパンに油を引き、三豊ナスを炒めます。

3



軽く火が通ったら、油あげと合わせだしをフライパンに入れて煮込みます。

4



三豊ナスがしんなりしたらそうめんの上に盛り、ごま油を垂らします。冷ましてもおいしいです。

暑気払いに、唐辛子、ミョウガなどの薬味を散らすと一味違う味になります



料理紹介 三豊市財田町

この河野 ともこ
河野 トモ子さん

栽培では、春先に行う房の形作りが一番難しいといわれています。日に日に大きく成長していく中、スピードも求められる作業です。収穫では、全ての房の糖度を測り、17度以上にならない物は出荷しない徹底ぶりです。「昨年は暑さで粒が落果してしまいました。今年はずっと天候に恵まれ、近年では最高の作柄になりました」と顔をほころばせます。

「親の作業を手伝う程度でしたから、専門的な知識が得られていませんでした。当面は、技術を磨くことを第一に頑張っていきたい」と意気込みます。

ブドウ「藤稜」を収穫する岸本浩平さん(三木町、36歳)。3年前、サラリーマンから転職し、ブドウ農家3代目としてハウスブドウに取り組み始めました。同時に面積も増やし、現在は55坪で「藤稜」「シャインマスカット」を中心とした5品種を栽培しています。



【表紙のつづき】